

台風 15 号が関東を直撃し、千葉県や伊豆七島などに大きな傷跡を残しました。少し後に南房総を訪れましたが、家屋やビニールハウスの被害のみならず、杉林の倒木の多さに被害の激しさを実感させられました。また大きな台風が来る予報なので心配ですね。

(総務幹事：田中和夫)

【10月例会】

日時：平成31年10月8日(火)(第2火曜日) 午後6:30~8:30

場所：吉祥寺、武蔵野公会堂第1・第2合同会議室

・講演：

大野和美氏「ロシア産ウスバキチョウ4亜種の生息環境と、同一産地で見られた
パルナシウス属及び、カザフスタンウスバキ採集失敗談」

朝日純一氏「私の蝶屋人生とフジオカイズム」

【今後の例会予定】

午後6:30~8:30

11月19日(火)(第3火曜日、武蔵野公会堂第1・第2合同会議室)

講演：須黒達巳氏：「ハエトリグモの魅力とは何か！」

講演：川手洋子氏：「ダーウィンが来た！」ディレクターの方のお話

12月8日(日)(第2日曜日、パレスホテル立川)

忘年会、競り会

1月21日(火)(第3火曜日、武蔵野公会堂第1・第2合同会議室)

講演：岡本隆然氏：「趣味のコラボ、蝶・山野草・カメラ・登山・etc」

2月18日(火)(第3火曜日、武蔵野公会堂第1・第2合同会議室)

3月28日(土)13~17時(第4土曜日、武蔵野公会堂第1・第2合同会議室)

会員総会

【連絡事項】



1. 「多摩虫73号発行」:

お陰様で、会誌73号を9月20日無事発送できました。執筆頂いた方々には、御礼申し上げます。また、本号の一部分に印刷汚れが発生していますが、ご容赦願います。規定により執筆頂いた方には2冊をお送りしてあります。発送はDM便でポスト投函となります。数日経っても届かない場合は一報ください。(編集幹事:羽鳥信義)

2. 【会員名簿】

会誌送付に際し、最新の会員名簿も同封してお送りしましたが、間違いなどありましたら田中までお知らせ下さい。

NAB02155@nifty.com。(総務幹事：田中和夫)

3. 【会員名簿の修正】

「姓名の漢字の訂正」:

青木航太 (アオキ コウタ) : E-Mail: claudio.aoki@gmail.com

住所: 〒124-0021 東京都葛飾区細田 4-11-3

「アドレス・ミスの訂正」:

手代木 求 (テシロギ モトム) : E-Mail: motomu7180@yahoo.co.jp

金子稜真 (カネコ リョウマ) : E-Mail: kr1125@yahoo.ne.jp

小原みね子 (コハラ ミネコ) : E-Mail: tajuria0622@gmail.com

「アドレスの変更」:

関口新平 (セキグチ シンペイ) : E-Mail: shimpei308gts@yahoo.ne.jp

多々良明夫 (タタラ アキオ) : E-Mail: dorsalis@gmail.com

4. 「新入会員の紹介」:

世良裕朝 (セラ ヒロトモ) : E-Mail: hiro1131999sera@icloud.com

住所: 〒263-0000 千葉県千葉市稲毛区緑町 2-11-10 080-6790-7146

埋忠洋一 (ウメタダ ヨウイチ) : E-Mail: y_umetada4231@nifty.com (2019 年月入会)

住所: 〒215-0003 神奈川県川崎市麻生区高石 5-21-1-7

5. 「住所の変更」:

鈴木陽花 (スズキ ハルカ) : E-Mail: fishfreshrefresh86@yahoo.co.jp

新住所: 〒969-7511 福島県大沼郡三島町大字宮下字居平 125-3 宮下居平団地 3 号棟 2 号

松田せいら (マツダ セイラ) : E-Mail: nana_matsuda@hotmail.com

新住所: 〒153-0063 東京都目黒区目黒 1-3-16 プレジデント目黒ハイツ 503

6. 『新着交換会誌の紹介』

下記の交換会誌が届いていますので、10月例会にて回覧いたします。

尚、本図書も貸し出し対象としますので、貸し出し希望の方はお申し出ください。

交換会誌

1. 埼玉昆虫談話会 寄せ蛾記 174号

寄贈雑誌

1. (有) むし社 月刊 むし No. 584 (渉外幹事: 福田幸雄)

『グループ多摩虫 9月例会』 実施報告

9月10日(火) 18時30分より武蔵野公会堂で開催されました。

当日は残暑が厳しい日でしたが、会員33名と非会員の方3名の合計36名の皆様が出席されました。演者は以下のお二人でした。動画をたっぷり用意され、たいへん貴重で興味深い内容で、皆さんたいへん熱心に聞かれていました。概要を添付いたします。

1. 松田陽二氏 「北部インドにおけるシボリアゲハ プータンシボリアゲハの生態」

三島市在住の松田さんをお招きできました。インドに2006年~2012年の間滞在され、その後も北東インドに通われ、二種のシボリアゲハについての形態的・生態的な違いなど多くの知見を得ておられます。採集はできないので、動画を奥様が主に撮られ、松田さんはその時々写真とデータを

つぶさに記録されているとのことでした。動画に先立ち、二種の斑紋の違いを静止画像で示されました。また、飛型でシボリアゲハは後翅が前翅から大きく離れるのに対し、ブータンシボリアゲハは両翅がほぼ連なり飛ぶ様子が動画に明確に映っていました。以下、説明頂いた内容をご本人に代わり記載します。

ブータンシボリアゲハ(*Bhutanitis ludlowi*)は、1933年ブータンで発見されましたが、他にインドの北東部 Arunachal Pradesh 地方にも生息する地域があります。7月末から9月中旬の雨期の湿度が高い時期に飛びます。個体数は他の蝶に比べても多いと言えます。

Arunachal Pradesh 州西部ではシボリアゲハ(*Bhutanitis lidderdalii*)及びブータンシボリアゲハ(*Bhutanitis ludlowi*)の二種類の *Bhutanitis* 属を産し、それらは混棲しています。

B. ludlowi の方は7月下旬から9月下旬まで、高度は2200m~3000m程まで生息し、一方 *B. lidderdalii* はやや遅く8月上旬~10月下旬に見られ、1800m~2450mで生息し、2200m~2450mは二種が混棲します。ラマキャンプ付近では二種が同時に見られました。

気象条件には依存せず、広い条件下(気温, 天候)で活動します。食草はオオバウマノスズクサ亜属で、棲息地には少なくとも3種類が自生しています。吸蜜はリョウブやガクアジサイの花等で観察しており、雨天でも吸蜜しています。吸水については、*B. lidderdalii* では多く観察されますが、*B. ludlowi* はこれまで観察例は聞いていません。交尾は1時間以上続き、地上付近の例もあれば、10mほどの高さの例もありました。

近年の課題はインドにおける外国人(主に日本人)による違法採集で、Arunachal Pradesh 州では大きな問題になっており、そのため日本とインドの共同研究やインド人研究者にも採集許可が下りないなど、調査活動に大きな支障が出ています。

質問：幼虫はいかがでしょう？

回答：8月中旬以降に訪れた方は、比較的卵なども多く見つけています。

幼虫は探したものの見つかられておらず、卵の跡などは幾つか見えています。

2. 森 紘一氏 「モンゴル9回目の遠征とグアムのチョウ」

森氏はほぼ毎年6月~8月頃にモンゴルにチョウの採集と撮影に出かけ、今年は7月5日から7月19日の15日間で行かれ、通算9回目になります。メンバーは今回は4名でしたが、長年モンゴルに通われている木村文彦さんが毎回計画を立てています。

そして今年は誰も行ったことのないゴビ地域に遠征しています。ルートは以下です。

拠点のウランバートルを出発し西へ約500kmのツェツェルレグのツェンケル温泉で一泊します。それから南下しながらテント生活の本格遠征になります。初日のトンゴロギーン峠で現地のガイドと落ち合い、タムチン谷(泊)からエルフト谷(泊)と山越えをします。

シャルガルジョウト保養地のホテルに宿泊した後、エルベル峠やホルポールジ湖(塩湖)を經由し、オログ湖に着きテントでは三泊目となります。イフ・ボグド山(3957m)の遠景を見るための山登りは物凄い道でした。その後は更に南下しキャンプ地で宿泊し、ゴビ砂漠地帯を抜ける帰路につきました。砂漠と言っても砂ではなく、大小の岩石のかけらで出来ている裸地です。車底が岩で突かれないか、息も詰まる状態で何時間も走っています。ようやくゴビを抜けて、国道で最後のキャンプ地バヤン・ゴビに辿り着いています。その間、チョウの採集は岩場、峠、湖沿いなどでの休憩時の他、昼食時間と宿泊テント地だけだったようです。ルートを体験して、今後活かす段階とのこ

とです。

これらを揺れまくる車窓から長時間撮影されています。その環境の厳しさが、しっかり伝わってきます。また、海のように大きな湖やゴビなどの壮大な景色も実感できました。

さらに、蝶の乱舞の動画や各地で撮ったモンゴル蝶達の飛翔写真も素敵でした。

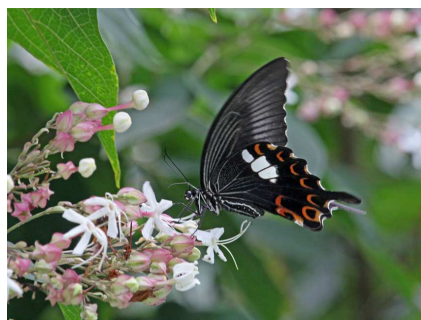
残り時間でお孫さん達と出かけたグアム旅行で、小学生にもセスナの操縦桿を任せるのには驚きました。機内からカメラで撮られた大きく傾き旋回する機体など、同乗した気分です。マルバネルリマダラの乱舞などはおまけでしたが、モンゴルの後で爽やかでした。

(企画幹事：宮内隆夫)

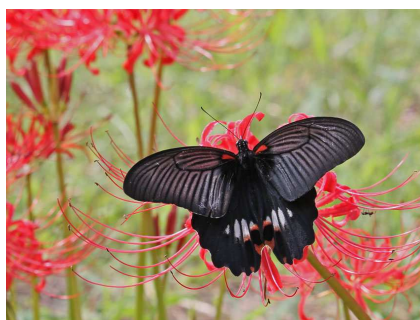
「二次会の風景」



『9月・10月の蝶』 : 左=川崎市 (9月2日)、中・右=鴨川市 (9月20日)



モンキアゲハ



ナガサキアゲハ



シルビアシジミ